



【病院利用者や公園利用者のためのほっとする場所としての小広場】
市民病院と太郎丸公園との間にある低未利用地は農業用水の風景も活かし休憩スペースを含めた小公園として整備します。入院患者の散歩や公園で遊び疲れた子どもや、散歩中のお年寄りの居場所として、また南富山駅と病院をつなぐ道沿いの休憩場所として利用されます。



【地域活動の拠点にもなるきとみち沿いの小広場】
きとみち（散歩道）沿いには辻となる部分を中心に小広場を整備します。地域活動の拠点やちょっとした集まり、憩いの場として多くの人に利用されます。



【きとみち（農業用水沿いの散歩道）で自然を感じる】
農業用水沿いのみちでは修景を行うとともに水辺に近づくことのできる仕掛けや、周辺住宅の改築時に庭や縁側を設置していくことで毎日会話や変化がうまれる「きとみち」した空間となります。



【きとみちと広場ににじみだす多世代の活動】
きとみちと広場には周辺施設からの活動がにじみだします。高齢者が隣接する保育園の子どもと交流したり、外で遊ぶ様子をみたり、子育て世代のお母さんとおしゃべりしたり、多様な活動がうまれます。



【自然と都市との境界だからこそ楽しめる。電車と水辺のある小広場】
車両基地周辺は電車と水辺の両方が楽しむことができるため、多自然型の水辺空間と親水空間を整備し、LRTや電車の車庫からも豊かな風景を楽しめる空間となります。



凡例

きとみち（路地・歩道修景範囲）
ゾーン30およびきとみちと南富山
まちづくり推進支援区域
整備予定の緑道および緑地

S=1:2,000

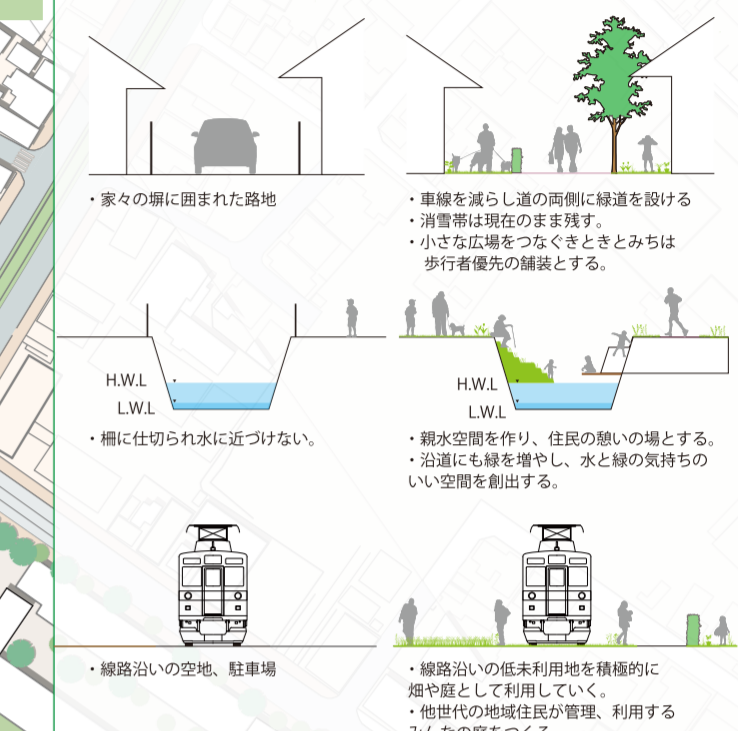
0 10 20 50 100 150 (m)

この資料は、富山市長の承認を得て、同市2500分の1基本図を使用し作成したものである。
(承認番号)平成27年8月27日富山市第75号

【歩きやすいまち】みちの修景の方法

■みちの性格に応じた公共と住民による修景

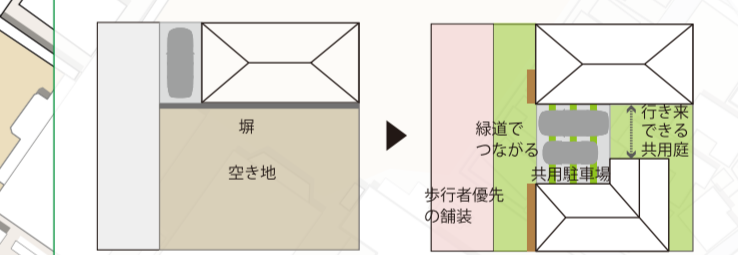
路地においては舗装の修景に加え縁があふれだすことを推奨し、水路沿いにおいては水辺に近づく工夫を行います。またLRTや鉄道沿いの低未利用地はクラインガルテンとして、市民農園や花壇として地域から愛される場所へと修景を行います。



【暮らしやすいまち】多世代居住の暮らしかた

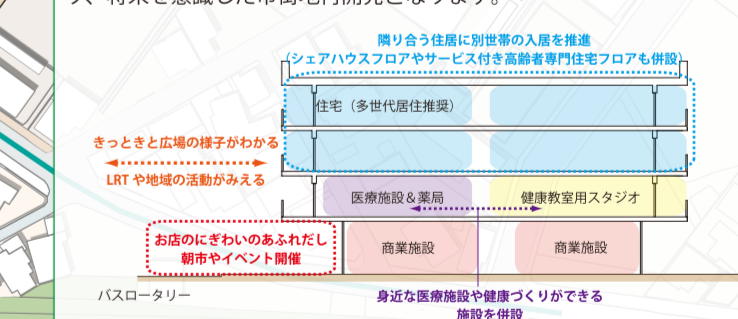
■隣地居住の促進と新築・改築時における修景

住宅地における空地・空き家問題に対しては隣地世帯の親類の若い家族の新築・改築を優先させ、補助金などで優遇します。その際に駐車場や路地、路地に面する部分における修景を同時に行うことで、暮らしやすいまちづくりを推進します。



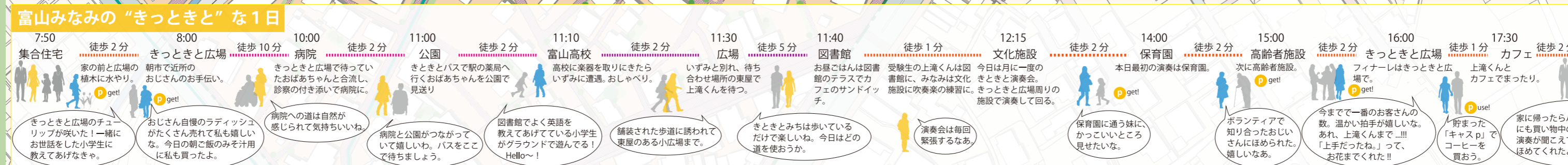
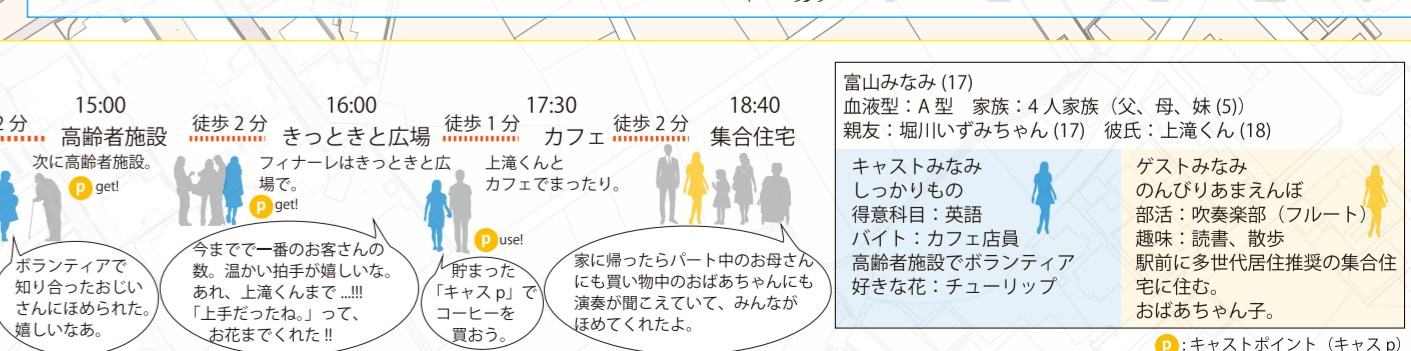
■集合住宅における多世代居住の暮らしかたについて

再開発による集合住宅では低層部に商業施設や医療・薬局などが入居し、上階の住居においては多世代居住を推進するとともに、若者の居住促進を目的としたシェアハウスフロアやサービス付き高齢者専用住宅を併設します。集合住宅はスクルトインフィルの考え方を導入し、リノベーションしやすい構成とするとともに、シェアハウスフロアは将来的にサ高住へと転用し、高齢化社会に対応した集合住宅となり、将来を意識した市街地再開発となります。



■駅周辺空間における交通等の整備について

駅周辺はLRTから路線バスへの乗り換えがスムーズになるとともに、大きな待合（改築駅舎）を挟んでコミュニティバスや送迎のための小さな交通広場を設け、駅を結節点として目的地に向かいやすくなります。また、パーク＆ライド利用者やきとみちとひろば等の利用者の駐車場を一体化して整備し、駐輪場も十分に設置します。また、駅前側からもアクセスできる構成とすることによって利便性を高めます。大きな待合やきとみちとひろばを中心に、交通の結節点としても機能します。



富山みなみ(17)
血液型：A型 家族：4人家族(父、母、妹(5))
親友：堀川いずみちゃん(17) 彼氏：上着くん(18)
キャストみなみ
17歳 男子中学生
得意科目：英語
バイト：カフェ店員
高齢者施設でボランティアにも関わっています。
好きなチャーム：チューリップ
おはあちゃん子。
ゲストみなみ
のんびりあまらぼ
部活：吹奏楽部(フルート)
趣味：読書、散歩
駅前多世代居住推奨の集合住宅に住居。
おはあちゃん子。
キャストポイント(キャスト)